

## 【情報公開文書】

2024年11月5日作成

Ver.3

研究課題名	主治医の性別が全身性エリテマトーデス(SLE)患者のQOLに及ぼす影響
所属（診療科等）	長崎大学病院 リウマチ膠原病内科
研究責任者	清水俊匡（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院リウマチ膠原病内科のみで実施します。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2025年12月31日
研究目的と意義	<p>SLEは、全身諸臓器に影響を及ぼす自己免疫性疾患です。主に若年から中年の女性に発症し、勉学や就労、家庭生活に多大な影響を来します。医療の進歩により長期生存できることが多くなりましたが、生活の質（QOL）は低いままとされ、今後はQOLの改善が望まれます。</p> <p>男性医師と女性医師では診療スタイルが異なるとされ、一般内科領域では主治医の性別が患者さんの予後に影響を及ぼすことが報告されていますが、QOLに及ぼす影響はまだわかっていません。</p> <p>そこで私たちは全国の他の施設と合わせたデータを用いて、主治医の性別がSLE患者さんのQOLに及ぼす影響を調べることを目的としてこの研究を立ち上げました。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 全国各参加施設での「全身性エリテマトーデス患者の疾患レジストリ構築」に登録されている患者さん ただし、レジストリ登録時点からさかのぼって3ヶ月以内に、主治医が変更になった方は除外します。</p> <p>●利用する情報 年齢、性別、身長、体重、罹病期間、飲酒歴、喫煙歴、血液学的検査、血液生化学検査、尿検査、尿沈渣、全身性エリテマトーデス関連血液検査、合併症、有害事象、疾患活動性、治療内容、妊娠出産歴、QOLに関するアンケート結果など 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 レジストリに登録された患者さんの情報を昭和大学より提供を受けて実施します。 診療記録から診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療方法、治療経過、QOLに関するアンケート結果を調査し、主治医の性別とQOLの関連について研究いたします。</p>

問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：清水俊匡（医師） 長崎大学病院 リウマチ膠原病内科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200</p> <p>受付時間 : 月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）</p>
--------	--